

ごみ問題啓発活動

遠藤将基・達可空・萩原亮斗

(兵庫県立西脇高等学校科学教育類型 73 回生 ごみ問題啓発班)

動機と目的

みどり園発行の「一般廃棄物処理計画」の資料より、西脇市のごみ処理費用の約4億8千万円の内、リサイクルできるはずのごみの処理費用が約1億円かかっていることが明らかになった。

➡ 年間の西脇市のごみ処理のコスト削減を目指す。

なので、まずは、ごみ百科事典の英語訳、西脇高校内でごみ分別アンケートを実施、環境パトロールへの参加、オンラインでごみの分別啓発、西脇市民かんきょう大学での出前講座をする。

今後の展開

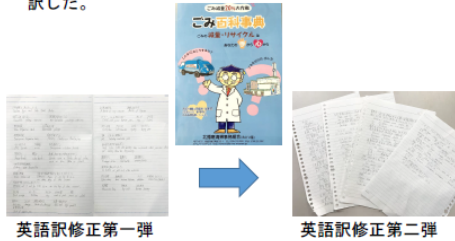
- 方法1: 英語訳だけでなく、ベトナム語訳や中国語訳のごみ百科事典を作成する。
 方法2: 西脇高校内で啓発活動を行った後のアンケートと、2学期に行ったアンケートを比較し、意識の変化を調査し、啓発活動に役立てる。
 方法3: 西脇市内のごみの現状を資料にまとめ、西脇高校内に掲示したり、HPに掲載したりする。
 方法4: ごみの分別方法だけでなく、西脇市ごみ処理費の現状などを動画にして、HPに掲載する。
 方法5: 西脇高校でも同じような出前講座を行う。学校や市からの依頼があれば、同じように行う。
 夢: 西脇市のごみ処理費用の削減を成功させ、その内容を踏まえて他の地区でもごみ処理費用のコスト削減を目指す。

方法

- ・ごみ百科事典の英語訳
- ・学校内でごみの分別に関するアンケートを実施
- ・環境パトロールへの参加
- ・オンライン(西脇高校HP)でごみの分別啓発
- ・西脇市民かんきょう大学での出前講座

方法1 ごみ百科事典の英語訳

目的: 近年、西脇市では外国の方が増加傾向にあり、日本語が分からない方でも理解できるようにする。
 方法: 北播磨清掃事務組合(みどり園)発行のごみ百科事典を英語訳した。



英語訳修正第一弾

英語訳修正第二弾

方法2 校内でごみ分別アンケートを実施

目的: 高校生のごみに関する知識・意識・関心、西脇市のごみに対して行っている施策やごみの分別の認知度について調査した。
 ごみの分別方法を正しく行ってもらうには、どのような伝え方が最適なのか、またごみの分別方法の理解度について高校生の意見をお伺いした。
 方法: 第73回生全生徒を対象に「ごみアンケート」を、Googleフォームを利用して実施した。

方法3 環境パトロールへの参加

目的: 西脇市や多可町内のごみのポイ捨ての現状を知り、今後の活動で情報発信を行い、ごみ問題に対する意識を啓発する。
 方法: 西脇市では「シルバー人材センター」が市内の不法投棄の巡回や回収を西脇市から委託されて行っている。そこでこの巡回に同行し、実際の現状や現場を自分たちの目で確認してメモを取り、写真を撮って記録に残して今後の啓発活動に活用する。

方法4 オンライン(西脇高校HP)でごみの分別啓発

目的: ごみの分別について、わかりにくいことや守ってほしいことを伝える。
 方法: ごみの分別方法の項目ごとに(燃えるごみ、容器包装プラスチック類、金属類、その他の不燃物)5分の動画を撮り、西脇高校HPに掲載する。

西脇高校科学教育類型HP
https://www2.hyogo-c.ed.jp/~nishiwaki-hs/weblog2/?page_id=302031



左から(3人ごみ啓発班、西脇市役所環境課芦澤様、本校生徒会長、生徒副会長、西脇市役所環境課藤木様)

方法5 西脇市民かんきょう大学での出前講座(中止)

目的: 私たちの活動を知ってもらう、ごみの分別方法をしっかり理解してもらう。
 方法: パワーポイントを用いて、私たちの活動報告と共にごみの分別方法を伝える。
 日時: 令和3年1月30日(土) 13時30分～(中止)

場所: マナビータ3階 ホール

●西脇市民かんきょう大学とは
 様々な環境問題について学び、「環境にやさしい暮らし」を見直し、また、地域の生活環境の改善や保全に地域のリーダーとなって取り組んでいただける方を増やすことを目的に平成14年度から開講している。令和2年度は学生29名、運営委員(市民エコ会議)4名で活動している。

謝辞

本活動を行うにあたって西脇市役所くらし安心部環境課芦澤徹平様、藤木洋平様、北播磨清掃事務組合(みどり園)業務課業務サービス係西村英春様、本校科学教育類型担当松本誠司教諭、竹中秀明教諭には有益な助言をいただいた。ここに記して謝意を表する。

生徒自身が活動内容を紹介しています。

ぜひご覧ください。

<https://youtu.be/ShkNmEK6vBg>

